

イベント等の年間スケジュールが掲載されていない。本町をもっと積極的にアピールできないものか。

**佐々木総務課長**

現在は主たるイベント等を重点的に掲載している。今後検討する。

**佐藤徳治議員**

敬老の日記念品、金婚者祝福記念品、高齢者表彰記念品の内容と各地域での開催されている敬老会の現状は。

**都築住民課長**

記念品は全て商品券を予定している。各地域での敬老会は、集落単位や公民館単位で春と秋に開催されており地域によって様々である。

**佐藤徳治議員**

過疎化・超高齢化の集落では敬老会を開催することが困難となっているが、行政のサポートはできないものか。

**岩崎町長**

集落だけではなく集落同士が協力し合い、町が一定の支援ができる制度、「みんなで支える郷づくり事業」を活用していただきたい。

**佐藤徳治議員**

平成22年12月定例会で前田議員から、ごみ収集指定場所各集落にあるが、居住地域以外への指定場所へごみを出してもかまわないかという質疑があり、都築住民課長か

ら、町のごみ袋へ入れれば収集場所はどこでもかまわないとの答弁であった。しかし、現実にはそれぞれのごみ収集指定場所は、地域の方々がネットですら困ったりするなど管理を行っているが、かまわないのか。

**都築住民課長**

12月の答弁は訂正をさせていただきたい。収集場所については、それぞれの地区の方が鳥獣が食いつぶすように網



ごみ収集施設

を被せたり、施設を設置し管理している。他地域からの大量の持ち込みによって管理が行き届かなくなるので、基本的に居住地域での収集場所に出していただきたい。もし何らかの都合により他地域へ出す場合は、管理をしている代表者に相談の上出していきたい。

**小笠原春行議員**

新規兼業農家スタイル構築育成事業委託料1、666万4千円の具体的な内容は。

**宮内産業建設課長**

(株)大豊ゆとりファームへ委託する。この事業は国の雇用対策の一環であり、平成21年度から3年間実施する計画である。現在ファームでは3人雇用し農業・観光などについて研修をしており、将来は町内で新規就農等による定住を目的としている。

**小笠原春行議員**

新規兼業農家スタイル



柚子搾汁施設

基本とし取り組んでいく。

**前野由和議員**

農業総務費が前年度に対し5億5、431万円減となっている減額理由は。

**宮内産業建設課長**

現在整備中の旧大豊中跡地へJA土佐れいほくが、柚子搾汁施設整備工事を施工しており、この工事が3月末をもって竣

構築育成事業を実施することによって、ただ一過性ではなく将来につながっていく計画は。

**岩崎町長**

この事業は3年間を通じて大豊町に定住をしていただくというサポートであり、既に1人についてはイターンとして、庵谷地区へ住居を構え新規就農の準備をしている。雇用者全員が町内で定住をしていただけることを

工するための工事費減額が主たる理由である。

**小笠原春行議員**

新規就農者研修助成金360万円の内容と今まで実施した効果は。

**宮内産業建設課長**

現在2人の方が、2戸の農家で研修をしている。この研修に対する受入農家と研修生に助成金を交付し、研修後は町内で就農をしていただく



耕作地（手前）と耕作放棄地

いう制度である。現在まで8人の方が新規就農している。

**小笠原春行議員**

本町へイターンとして若者が就農することは、地域の活性化や耕作放棄地の解消にもつながり、今後更なる支援策を望む。

**三谷幸一郎議員**

有害鳥獣捕獲報償費とシカ個体数調整事業報償

費の相異は。

**宮内産業建設課長**

猟期は11月15日から3月15日までであり、この期間外における鳥獣被害が発生した場合に有害駆除の手続きを得て駆除する場合に有害鳥獣捕獲報償費が交付されるが、シカ個体数調整事業は有害があるから駆除するのではなく、一定以上に増頭したシカの個体数を調整し適正頭数を保ち被害をなくすることを目的としている。この報償費の対象期間は、猟期間中となっている。



日本一大杉

**上池如夫議員**

商工費の中に新たに地域おこし協力隊費1、317万8千円が計上されているが具体的な内容は。

**佐々木総務課長**

平成23年度から3年間、3大都市・過疎地域・離島半島の指定地域以外から4人をホームページなどで募集し、大豊町に居住していただき集落の方々と共に地域おこしに対して協力を得る事業である。

**西村正尚議員**

観光施設測量の場所はどうか。



天坪地区ヘリポート予定地